

キックオフ
せしモニー開催



柘植駅開業130周年に向けて。。。



2月14日には、当日に向けての準備としてパネル設置を行いました(左写真)。イベント当日は冬の冷たい雨模様。JR西日本亀山鉄道部、伊賀市(伊賀

2月19日(火)午前、JR柘植駅構内跨線橋において、130周年キックオフイベントを開催しました(上写真)。柘植駅は明治23(1890)年に開業し、来年2020年で130周年。検討委員会では、滋賀県草津線複線電化期成同盟会の資金援助を受けて、「柘植のホントかるた」を使った跨線橋活用による地域振興をめざしています。

1年間にわたる期間のプランはまだ確定していませんので、関心のある方やアイデアをお持ちの方は、ぜひ委員会に参画していただきますようお願いいたします(詳しくはお問い合わせください)。柘植駅を核とする公共交通のあり方検討委員会

支所)、鉄道OB会等関係者が見守る中、パネルの除幕、関係者のあいさつ、製作者である田中さん(ランプの会)による説明などがあり、来年の130周年に向けて、さまざまな取り組みの推進を確認し合いました。



柘植地域 まちづくりだより 第230号

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地
(柘植地区市民センター内)
〒五二九-一四〇二
電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三
発行日 二〇一九(平成三十一)年三月一日(金)

柘植地域俳句コーナー
橋寄り
今出て来たる
花見舟
木村幸代

柘植地域で

エネルギーを自給することは

本気で
考えています

できないだろうか？

産業交流部会

2月19日(火)午前、エネルギー自

給推進研修会を開催しました。

参加者8名(うち女性1名)の方々と日本の将来のエネルギー事情についてと柘植地域において何ができるかを話し合いました。

現状認識として次のような点を確認しました。

- ①日本の石油や天然ガスの年間輸入量とその額はいくらか？
- ②中国や韓国の原発の現状は？
- ③化石燃料枯渇後の代替エネルギーは？



知っている
ようである
いことが多
あることが
わかりまし
最後に、柘
植地域でエ
ネルギー自給
に寄与できる
ことには何が
あるのかを考え
ました。

参加者からは、

- ・間伐材を利用したバイオマス
 - ・小水力発電・太陽光発電
 - ・バイオマス生産企業誘致
 - ・休耕田を利用した藻類生産
- (石油成分を合成する藻類が発見されています)
などが出されました。

今後ともいろいろな意見をまとめながら、実現に向けた行動が期待されます。



JAいがふるさとから 「飛び出し注意看板」 贈られる

2月21日、伊賀ふるさと農業協同組合(柘植ふれあい店)

から交通安全啓発活動の一環として、「飛び出し注意看板」をいただきました。

JAの「社会的責任と地域社会への貢献」との尊い思いを受け、まち協では、生活環境部会長、区長代表、伊賀警察(柘植駐在所)ならびに交通安全協会とも連携協議の上、このたび危険箇所4か所に看板を設置しました(2月25日)。



住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、一人ひとりの自覚を高めるとともに、市・警察・JAと協力して、まち協ならびに各区が啓発活動を推進し、地域の事故防止力を高めていきたいものです。



①柘植郵便局前、②「カラオケ華」駐車場角、③小林の交差点、④市民センターから南北道路に出るところに設置しました。



「お知らせ」 移転

スマイルキッズ工事終了

4月1日より小学校舎内で

4年前の2005(平成17)年4月、小学校からほど近い古民家を活用して「放課後児童クラブ」が始まりました。

いわゆる「学童保育」については、まちづくり協議会が設立された当時、住民の強いニーズを受け、『まちづくり計画』にそって健康福祉部会で議論が始まりました。

その後、行政等を交えた学童保育事業準備協議会での議論で話が深まっていき、伊賀市の委託事業としてふれあいステーション都美恵が受託することが決定。「放課後児童クラブ・スマイルキッズ」が現在に至っているのです。

時の経過とともに施設の安全性の問題などをふまえ、市が検討を進める中で柘植小学校内の一部を改造し運営することが決まりました。

3月末で利用終了となる現在のスマイルキッズ



柘植小学校内では移転に向けた本格的な工事が昨年の秋に始まりました。また旧柘植保育園が閉園になった際に処分することになったロッカーなどを備品として再利用しています。こうして4月1日から新しい場所で運営されることになりました。

校舎とは、カギのついたアコーディオンカーテンで分離されており、校舎内からスマイルキッズへ行くことはできない構造になっています。



工事が終了し、利用が待たれる新スマイルキッズ

スマホをお使いの方へ

「まちづくりだより」のバックナンバーは、QRコードを読み取ってご覧いただけます。

ぜひ、カラーでご覧ください！



工夫と努力で今年も充実しました！ 第7回ひな人形展開催中

女性活動部会

毎年、柘植の里に春を告げる「手作り雛人形展」が今年も2月26日から始まりました。新聞等でも紹介されましたが、今年のテーマは「ニエニス」。全米&全豪女子オープン優勝の大坂なおみ選手を主役に、男子の錦織圭選手などを展示しています。





柘植保育園や
柘植小学校の
みなさんが見
に来てくれま
した!



齋王展示やまち協紹介
もあります



賑わってます!



お越しください!
お待ちしております!



3月3日(日)
は、お茶席も用意
して来場をお待ち
しています。(菓子
が無くなり次第終了)



★★★事務局だより★★★

▼この冬、保育園、小・中学校ではインフル
エンザの影響が大きくあったようです。皆様
いかがお過ごしですか。▼2月23日(土)午
後、甲賀市甲南町竜法師にある忍(しのび)
の里・プララ多目的ホールで行われた日本遺
産シンポジウム「家康決死の逃避行」影で支
えた伊賀・甲賀の忍者たち(主催:「忍びの
里伊賀甲賀忍者協議会」)に参加しました。
2017年、両市が日本遺産認定を受けたこ
とによるイベントです。▼すぐ隣の地域であ
りながら、交流の少ない両者が共通の話題で
会することは意義あることです。当柘植地域
にとってはJR草津線でのつながりも含め、
今後防災面での交流も不可欠と考えていま
す。▼「家康が両市に到着した6月3・4日
を『伊賀越え記念日』にし、ゆかりの地を巡
ろう」との提案がパネリストからありました。
また2020年には明智光秀が主人公のNH
K大河ドラマ「麒麟(きりりん)がくる」の放
送が予定されています。それに合わせて伊賀
&甲賀の忍者が天下人(家康)を助けたとい
う事実を積極的にPRし、多くの人に伊賀や
甲賀を訪れてもらう気運を高めようとの話に
もなりました。「徳永寺」を地域内に有する
私たちは率先してこうした交流イ
ベントと向き合うことが必要でし
よう。▼柘植地域に住む一人ひと
りがもっと歴史を学び、同時に将
来に向けて住民自治の歴史も刻ん
でいきましょう。(西田方計)

